

あの日、あの時

第6回 台湾・桃園市と友好都市に

市のさまざまな情報を発信している広報なりた。当時の出来事や取り組みが記された紙面からはその時代のまちの空気が伝わってきます。ここでは、これまでに発行された広報なりたを通して、まちの歩みを振り返ります。

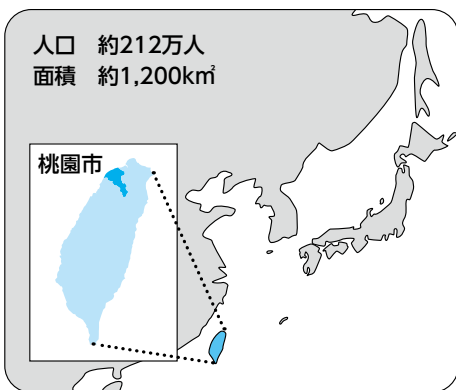


左から游桃園市副市長、小泉市長、夏目成田国際空港社長と蕭桃園国際空港総経理



- ① 友好都市協定を締結(平成28年10月1日号から)
- ② 仲之町の山車が海を渡り台湾に(平成28年3月15日号から)

人口 約212万人
面積 約1,200km²



友好都市締結

台湾・桃園市と固い絆

本市と桃園市は、平成27年9月に桃園市長が本市を表敬訪問したことを契機に、本年2月には桃園市で開催された「2016台湾ランタンフェスティバルin桃園」に招待され、会場で成田の山車を曳き廻すなど、交流を重ねてきました。桃園市は、台湾の空の玄関口である台湾桃園国際空港と台湾有数の工業地帯を擁する国際都市です。同日は成田国際空港と桃園国際空港の姉妹空港覚書も取り交わされました。今後、観光・教育・文化・スポーツ・経済など幅広い分野での交流を推進することで、相互理解と友好を深め、両市がさらに発展していくことが期待されます。

9/16

①

本市と桃園市の交流は、平成27年9月に桃園市長を団長とする訪問団が本市を訪れたことをきっかけに始まりました。28年2月には、延べ2,000万人以上が訪れた台湾最大級のイベント「2016台湾ランタンフェスティバルin桃園」に招待され、市内にある山車のなかで最も古い仲之町の山車が、桃園市内を曳き廻されました。ほかにもメインステージでのパフォーマンスやPRブースなどを通して成田の魅

力を来場者に紹介しました。

こうした交流を重ね、28年9月16日に本市と桃園市は友好都市協定を締結。その後の「成田伝統芸能まつり」には桃園市の伝統芸能団体が出演するなど、交流はさらに広がりました。あれから10年。文化・スポーツ・教育・観光などさまざまな分野で関係を深め、両市の友好を育んできました。

令和8年9月15日号 No.1563



成田市のホームページ
<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

*本紙は9月4日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

編集後記

昨年10月1日号の編集後記で「1年後に細マッチョになる!」と宣言しました。生成AIに食事やトレーニングメニューを作ってもらい、理想の体型を目指した私。その結果はというと、細マッチョどころか、むしろ増量。敗因はAIではなく、誘惑に負けた自分自身でした。どんなに優れた計画も、続けなければ意味がありません。これ以上増量しないように体型をキープしつつ、まずは自分の精神力を鍛え上げていきたいと思います。

リサイクル適性(㊟)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。